

地域の皆様へ物品の寄贈



近隣地区贈呈式

11月5日、東長原近隣地区の代表役員の方々を記念館にお招きして贈呈式を行い、非接触型体温計、殺菌用アルコール、使い捨てマスクを寄贈しました。

窪田事業所長から、日頃より事業所運営にご協力いただいている事への感謝と、事業所でもコロナ禍を乗り越えていきたいとの挨拶があり、長谷地区長の花泉様からは、地区の皆さんも納涼祭の中止をととても残念に思っている事と、物品は公民館に置いて感染予防に活用したいとのお礼のご挨拶をいただきました。

また、地元の河東学園小学校及び中学校には直接お伺いして、ペーパータオル、除菌アルコール、キャンパスベッドを寄贈しました。旭ダムのある下郷町には、教育委員会を通じて小学校と中学校に使い捨てマスクを寄贈しました。

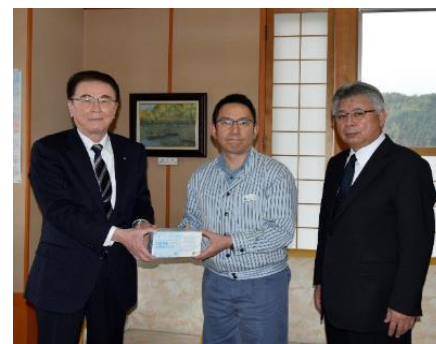
今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、納涼祭や水神祭以外にも地域の皆様と直接お会いして意見交換をする場がほとんどなくなってしまいました。そんな中でも今回のように何らかの形で機会を作り、今後も継続して地域に貢献していきます。



河東学園小学校へ寄贈



河東学園中学校へ寄贈



下郷町へ寄贈

毎年地域貢献を目的に、事業所では納涼祭、旭ダムのある下郷町では水神祭を開催しておりますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響によりどちらとも中止となってしまいました。

そのため、地域の皆様への日頃の感謝の気持ちとして新型コロナウイルス感染予防対策品を寄贈することになりました。

出前授業

11月19日に毎年恒例の「出前授業」を、地元の河東学園小学校5年生を対象に開催しました。会場を二つに分けて、図工室では固体・液体・気体の変化を学ぶ「物質の三態」をテーマに、理科室では薬品を使ってスライムなどを作る「ゲルの生成」をテーマに実験を行いました。

「物質の三態」の実験の中で液体窒素で凍らせたバナナで釘を打って見せると、テレビ番組や動画などで目にした事があるかもしれませんが、実際に見るインパクトは大きかったようで、各テーブルから驚きの声が上がっていました。「ゲルの生成」の実験として行ったスライム作りでは、スライムを溶かしてまた元に戻す過程が難しかったようで、うまくいかないグループもあり実験の反応も様々でした。後日生徒の皆さんから届いた感想文の中には「昭和電工で働きたい」という内容もあり大変嬉しく思っています。今後も化学や昭和電工を身近に感じられるような内容を考えて継続していきます。



出前授業の様子

下期定年退職式

11月13日、定年退職式を行いました。

記念館にて式が行われ、窪田事業所長から感謝状の授与、記念品の贈呈、これまでの東長原事業所への貢献に対する感謝とねぎらいの言葉が述べられました。

本事務所前での花束贈呈の際には、「今後は仕事でもプライベートでも今までの恩返しをしていきたい」との温かい挨拶がありました。その後、晴天の下多数集まった従業員が見送りました。

今後も引き続き東長原事業所に勤務することとなり、より力強い事業所を築いていけるようご指導いただきたいと思います。



記念写真撮影



多数の従業員が見送りました